

1 文部科学省委託事業の目的

社会人の「学び直し」のニーズに対応するため、大学、短期大学、高等専門学校における幅広い教育研究資源を活かした優れた学修プログラムを開発・実施することにより、学び直しに資する良質な教育プログラムの普及を図り、再チャレンジを可能とする柔軟で多様な社会の実現を目指しています。

2 主催

文部科学省
島根県立大学短期大学部

3 後援

島根県
島根県教育委員会

4 期間

平成19年8月1日～
平成22年3月31日(3年間以内)

5 本学研修事業の主な対象者

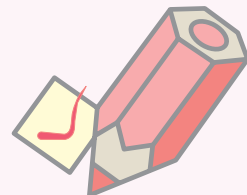
保健・栄養領域（助産師・保健師・養護教諭・栄養士・管理栄養士）、保育・教育領域（保育士・幼稚園教諭・通園通級指導者・特別支援学校教諭）などの「子育て支援」にかかわりの深い専門資格・免許をもつ現職者と、資格を持ちながら離退職した方を主な対象とした研修です。

6 本学研修事業のテーマ

資格・免許課程を持つ本学が、『周産期からの相談者としての対人援助』『個別支援の必要な家族と子のアセスメント』『他領域との専門職連携によるチーム支援』『個別的教育支援計画に参画・発達支援』等の新たな職能ニーズに対応した再教育プログラムを、研修ニーズを把握する専門職能団体と連携して開発研究し、受講者の身につけた専門性に応じて履修証明を発行します。履修カリキュラムと履修証明の社会的通用性を向上させる機構について地方自治体と連携して開発し、新たな子育て支援施策に対応した人材養成を目指します。

7 アンケートのお願い

本学研修事業では、「子育て支援」教育課程を開発するために受講者調査を実施します。受講者には履修前・履修中・履修後に調査へのご協力をお願いします。同封の「申込書」の上の「カリキュラム開発のための調査協力についてー協力要領ー」同意書の項目をよく読み、要領を了解された場合はチェック欄に印をつけてください。受講希望者は、8項目すべての協力要領の項目について、あらかじめご了解いただきますようお願いいたします。



8 研修内容と構成

今回の受講申込みは、平成21年2月開始の「第Ⅱ期基礎コース」です。プログラム内容と日程についてはこのリーフレット内側をご覧ください。平成21年12月までに、3つの専門領域の「基礎コース」と「専門コース」を実施して履修証明を発行します。

9 申込要領

今回の詳しい日程ご案内は「第Ⅱ期基礎コース」のみです。「第Ⅱ期専門コース」は第Ⅰ期あるいは第Ⅱ期「基礎コース」を履修した方のみが履修可能となります。「第Ⅱ期専門コース」の詳しいご案内とお申し込み受付方法は、基礎コース期間中（平成21年4月頃）にお知らせします。

■あなたが第Ⅰ期基礎コースあるいは第Ⅰ期専門コースの一部を欠席して、まだ修了しておられない場合、第Ⅱ期の代替講座を受講することで「基礎コース」あるいは「専門コース」修了となります。第Ⅱ期の申込み手続きについては、第Ⅰ期に登録した開発室に電話でお問い合わせください。その際、必ず受講者番号をお知らせください。

■あなたが今回新規に、第Ⅱ期基礎コースを申し込まれる場合、また第Ⅰ期と異なるコースを申し込まれる場合、同封の3種類の申込書のうち希望するコースの申込書に必要事項を記入し、FAXあるいは郵送で該当の用紙の下に記載の宛先までお送りください。

10 申込期限

平成21年1月10日（土）

11 受講料

1コース（基礎） 1,000円
（初回の受付時にいただきます。）

基礎コース指定の教科書（予価2,000円）を期間中にお求めいただきます。

12 託児

託児をご希望の方は、必ず1月10日締切りのお申込み前に各コースの開発室にお問い合わせください。



13 受講申込後の通知

受講の決定通知につきましては、各コースとも平成21年1月末までに返送いたします。各コースの定員が超過した場合は、専門領域・会場等によりこちらで調整させていただきますので、あらかじめご了承ください。

文部科学省委託事業
「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」

「子育て支援」再養成講座



第Ⅱ期コースご案内

平成21年2月から「子育て支援」再養成講座第Ⅱ期コースを開始します。平成20年第Ⅰ期にご参加いただけなかった方の平成21年新規受講申し込みのほか、第Ⅰ期にご参加いただいた方の他のコースの履修、第Ⅰ期に一部欠席された方の補講によるコース修了も受け付けます。

この文部科学省委託事業は平成19年度から3カ年間の事業となっています。平成21年の第Ⅱ期をもって講座は終了しますので、第Ⅱ期の受講機会を逃さず奮ってご参加いただきますよう、ご案内します。

文部科学省委託事業
「再チャレンジ支援」

平成19年度全国大学
315件中126件選定

コースごとに
「修了認定証」発行

実習を含む「専門コース」
へチャレンジ

■主催／文部科学省・島根県立大学短期大学部
松江キャンパス【保育学科・健康栄養学科】
出雲キャンパス【専攻科・看護学科】

基礎コース（目標）『母子保健領域・健康栄養領域・保育教育領域に共通する子育て支援の基礎を習得し、チーム支援の中で子育て支援に関する専門的手法を理解できる』

産後うつケア・虐待予防(基礎)コース

1日5時間・計15時間

2/7(土) 出雲キャンパス

第1講 周産期の母親への援助
～虐待を予防するために～
埼玉県立がんセンター産婦人科医師 荷見よう子

第2講 地域における虐待予防のとりくみ
～虐待予防につながる子育て中の親への接し方～
元高知県立児童相談所小児科医師 澤田 敬

2/8(日) 出雲キャンパス

第3講 産後うつ病とEPDS利用法
・二次スクリーニング
～助産師の立場から～
九州大学附属病院産婦人科病棟専任助産師 山下 春江

4/26(日) 出雲キャンパス

第4講 MCGとは何か
～被虐待児の親へのアプローチ～
社会福祉法人子どもの虐待防止センター (CCAP) 相談員
理事長 広岡 智子

第5講 保健・保育・学校等関係機関における虐待防止
～乳幼児・学童における虐待防止～
関西学院大学教授 才村 純

第6講 地域における虐待予防体制
～島根県における虐待相談と虐待防止のネットワーク～
元浜田児童相談所所長・小村臨床心理士事務所
所長 小村 俊美

食育実践指導(基礎)コース

1日5時間・計15時間

2/14(土) 松江キャンパス

第1講 食育への取り組み(事例報告)
作陽保育園園長 有木 信子
実践女子短期大学 准教授 白尾 美佳
東京大学奨学厚生グループ 管理栄養士 栗本 孝子
中国四国農政局島根農政事務所 消費生活課課長 藤井 信幸

第2講 食育とは
～生活及び食生活実態調査の結果から～
厚生労働省健康局生活習慣対策室 栄養・食育指導官 田中 弘之

4/19(日) 浜田キャンパス

第3講 食育への取り組み(国および地方自治体の施策)
奥出雲町立亀高小学校校長 古川 康徳

第4講 パネルディスカッション
食育への取り組み(事例報告)
西日本新聞「食くらし取材班」フリーライター 渡邊 美穂
慶應義塾大学保健管理センター教授 南里清一郎 ほか

7/5(日) 出雲キャンパス

第5講 食育の必要性～からだ(身体機能・脳)～
国際医療福祉大学臨床研究センター教授
山王病院小児科部長 鈴木 五男

第6講 食育の必要性
～五感・こころ～今なぜ食育か
日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所所長 川井 尚
高知大学教授 針谷 順子

早期発達支援(基礎)コース

1日5時間・計15時間

2/15(日) 浜田キャンパス 3/20(祝) 松江キャンパス 3/21(土) 出雲キャンパス

第1講 DENVER II デンバー式発達スクリーニングの手法
兵庫県立こども病院総合診療科医師 宅見 晃子

第2講 DENVER II デンバー式発達スクリーニングの利用
兵庫県立こども病院総合診療科医師 宅見 晃子

4/29(祝) 浜田キャンパス 5/9(土) 松江キャンパス 5/10(日) 出雲キャンパス

第3講 早期発達支援と親支援の進め方
島根県立大学短期大学部教授 山下由紀恵

第4講 視覚に弱さをもつ子どもの
アセスメントと療育
大阪医科大学LDセンターオプトメトリスト 奥村 智人

5/31(日) 出雲市民会館

第5講 就学前の発達障害児とその家族の支援について
神戸大学医学部保健学科教授 高田 哲

第6講 療育ネットワークをつくる
～長野県での取り組み～
長野県立こども病院「障害児療育・保育・教育支援研究会」
代表 理学療法士 木原 秀樹

第7講 地域の子育て支援ネットワークのあり方
～人と支援をつなぐ相談支援手帳(ファイル)の工夫～
話題提供者: 河井 克典(松江市の取り組み)
高田 哲(神戸市・神戸大学の取り組み)
木原 秀樹(長野県の取り組み)

専門コース（目標）…『自分の専門領域で支援者として相談業務を実行し、特別に支援の必要な家族や子どものための個別支援の方法を立案して、チームで実現できる』

専門では、妊娠期・周産期からの親子と家族関係、メンタルヘルスに関するアセスメントと支援法を習得し、虐待相談や、ピアカウンセリング支援が実施できることを目指します。

【参考：第I期専門の講座内容(全30時間)】

「産後うつ病研究の最前線ー発症メカニズムから診断治療まで」「島根県における虐待のアセスメント方法」「MCG(母と子の関係を考える会)養成講座」

開発室1(産後うつケア・虐待予防コース)

島根県立大学短期大学部出雲キャンパス(担当:成相)
〒693-8550 出雲市西林木町151 Tel&Fax(0853-22-6544)
E-mail: kaihatsu1@izm.u-shimane.ac.jp

専門では、乳幼児期と妊娠期・授乳期の特性と栄養ケアについて、さらに詳しく学びます。また実践のための技法、栄養ケア計画(食育計画)の立案方法や栄養教育の方法について学びます。

【参考：第I期専門の講座内容(全15時間)】

「小児の体の特徴と栄養」「小児の栄養ケア」「授乳・離乳の支援ガイドについて」「栄養教育の方法」「栄養カウンセリング」「母性(妊娠期・授乳期)の特性と栄養ケア」「小児の栄養評価・ケア計画・実施後の評価について」

開発室2(食育実践指導コース)

島根県立大学短期大学部松江キャンパス(担当:吉田)
〒690-0044 松江市浜乃木7-24-2 Tel(0852-26-6345) Fax(0852-26-6346)
E-mail: kaihatsu2@matsue.u-shimane.ac.jp

専門コースは、ポータルプログラムやソーシャルスキルトレーニングなど、実践的な専門職能のための講座です。発達のなつまずきを持つ乳幼児を目の前にして、どのように指導計画を作成したらよいか、今まで悩んだことのある方のためのプログラムです。

【参考：第I期専門の講座内容(全30時間)】

「ポータルプログラム初級養成講座」「発達検査の手法」「自立のための指導プログラム」「発達に軽度の遅れや偏りのある幼児に向けてのソーシャルスキルトレーニング」

開発室3(早期発達支援コース)

島根県立大学短期大学部松江キャンパス(担当:菅井)
〒690-0044 松江市浜乃木7-24-2 Tel(0852-26-6347) Fax(0852-26-6348)
E-mail: kaihatsu3@matsue.u-shimane.ac.jp